

名古屋国語教育研究会会報

令和4年10月 広報部 第71号

「夏の半日研究会」をふり返って

今年度も、感染症拡大防止の観点から、講演会を7月9日午前にオンラインで、また参集形式による各分科会を8月8日午後にウインクあいちで開催しました。

〈講演会の様子〉

「子どもたちの学びをつくる国語科の授業—『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現に向けて—」というテーマで、東京学芸大学（国語科教育学分野）教授 中村和弘氏に講演をしていただきました。

〈中村先生のご講演より〉

- ・ 個別最適な学び・協働的な学びの実現とは、資質能力の育成のためにその工夫が行われることであり、個別最適な学び・協働的な学びが授業のねらいではない。また、すべてを子どもに任せるということではなく、子どもたちがどんどん具体的に想像できるように、内側から思考が活性化するような課題設定、発問の投げ掛け、目的の提示等を行うことが教師の仕事である。
- ・ 個別最適な学び・協働的な学びは、「互いの学びを参考にする」「自分の考えや作品が周りの子の役に立つ」といった「参照し合う」「あたたかみがある」「開示的」な学びであること、また、子どもたちが、何をどう学ぶのかを選択でき、「トライ&エラー」のある学びであることが大切である。

〈各分科会の様子〉

【小学校読むこと部会】

一昨年度から段階的に作成してきた『読みの観点』の系統表【物語編】に、今年度は具体的な叙述に対する新解釈を加えたものの活用方法（6学年分）と、ICT機器の活用方法を提案しました。導入・習得・活用・まとめの場面における、ICT機器を活用した「読みの観点辞書」や「Yチャート」の活用方法、ジグソー法を用いた意見交流の方法を、模擬授業を通して提案しました。



【中学校読むこと部会】

事前録画した『AIは哲学できるか』の授業を見ながら、文章をより深く理解できるようにするために、個別に追究した課題の成果を共有する際の発問の仕方を中心に提案をしました。参加者からは「揺さぶる発問によって子どもたちが課題の成果を共有する際に、『この文をもう一度読もう』等と思考し直していたのがよかった」「個別に課題を追究し、それを全体課題につなげる授業は文学等でも使える」という声をいただきました。



【話すこと・聞くこと部会】

小5単元『AIとの暮らし』の授業を通して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をさせた授業について話し合いました。「見える化シート」を用意し、賛成意見、反対意見を書き出した後、ミニディベートを行いました。そして、自分に必要な意見を「話したことボックス」に移動させ、自分の考えとなる根拠を増やすようにしました。個別→協働→個別→協働と活動することで、子どもたちの学習の力を伸ばすことができるという意見が多く聞かれました。



【書くこと部会】

部会として「学習の進め方」「学習内容」「到達目標」について、「見通しをもつこと」を取り上げました。提案①では「到達目標」「モデル文」「ループリック」「T o D oリスト」等、学習で使用する資料を、ロイロノート上で子どもたちが必要な時に活用できる実践を提案しました。提案②では、学年や文種に応じて「学習過程を思い出させること」「子どもたちと教師で頑張りどころを焦点化すること」を重点とした実践を提案しました。



【言語部会】

前半は、言葉集めをするためのワークシート「ことばのえき」を使って、好きなテーマに沿って言葉を多く集めたり、集めた言葉を短文作りに役立てたりする実践（小1）を紹介しました。

後半は、自立語・付属語の分類や文節の働きなど、文法学習にロイロノートを活用する実践（中1）を、実際にタブレット端末を操作しながら紹介しました。小中の参会者が、異校種の実践についても学ぶ機会となり、活発に意見交換も行われました。



【書写部会】

本部会では、ICTを活用した授業提案を行いました。タブレット端末を活用して、対話活動を行うことで、紙面に対する文字の大きさや調和のさせ方における子どもたちの力を育む指導について考えました。また、書写の評価についても学びました。その後、参加者の日頃の授業の疑問や悩みを話題に、活発に話し合うことができました。



名国研ホームページをリニューアルしました！

課題研究部（話すこと・聞くこと部会、書くこと部会、小学校・中学校読むこと部会、言語部会、書写部会）や授業研究部の月例会の様子や案内がアップされています。他にも、会報や研究集録の目次もPDFで見られるようになっています。「国語の研究会ってどんなことをしているのかな」「国語の授業のアイデアが知りたい」という方は、QRコードかURLで検索してみてください。「お気に入り」に登録しておく便利です！

URL <https://meikokuken.sakura.ne.jp>

